

平成25年(2013年)3月期 第3四半期累計期間 決算発表

2013年1月30日





2012年12月に発表した タタ日立製 ZX220LC-GI

- 売上高は、中国向けの大幅減少及びTCMの除外によるマイナス要因(約380億円)があるものの、北米及び日本向けが増加したことにより、前年とほぼ変わらず
- 営業利益・経常利益は、中国向け売上高が大幅に減少したことにより対前年減益

(単位：億円)

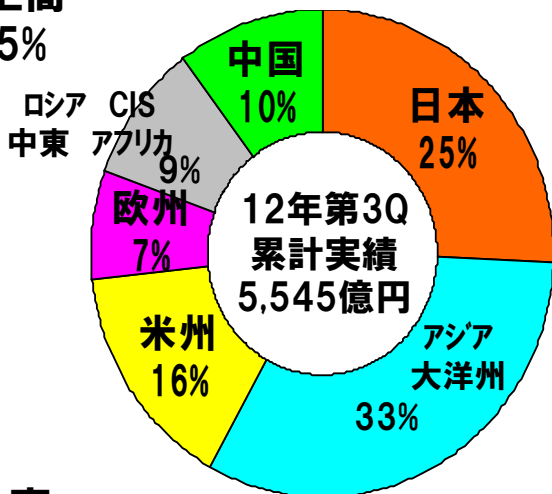
		12年 第3Q累計	11年 第3Q累計	前年 増減率
売上高		5,545	5,533	0%
営業利益		283	319	△11%
経常利益		198	297	△33%
当期純利益		127	121	5%
為替	アメリカドル	79.96	78.64	
	ユーロ	102.28	111.04	
	中国元	12.74	12.35	

(単位:億円)

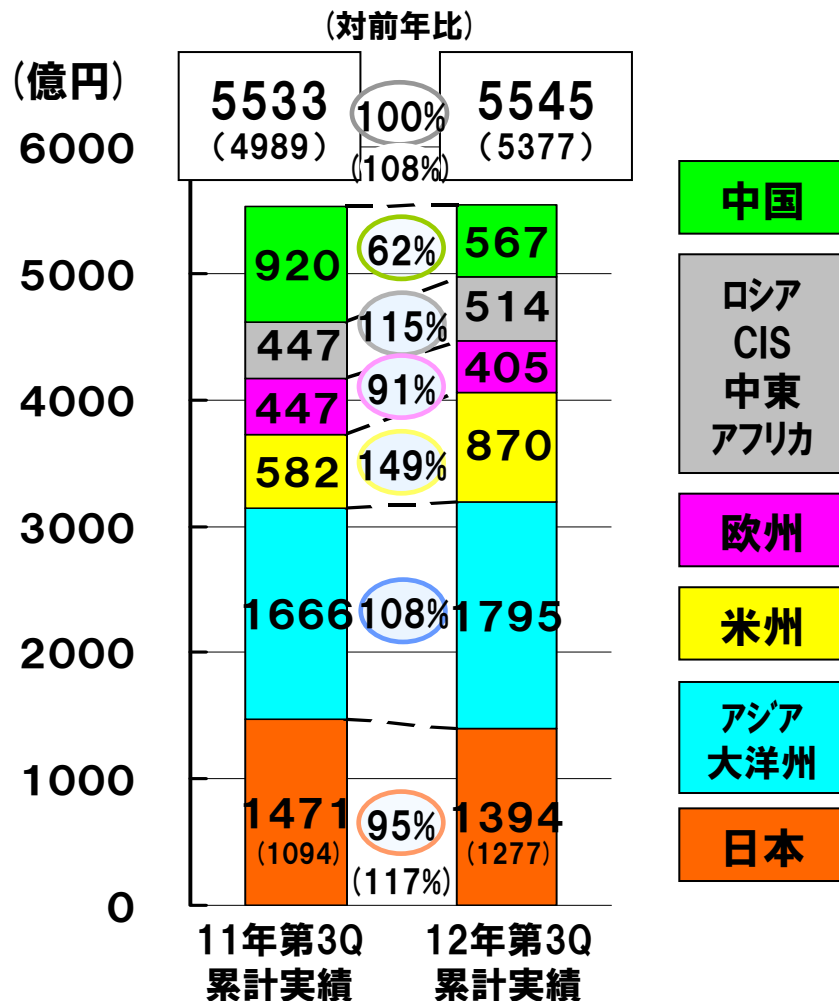
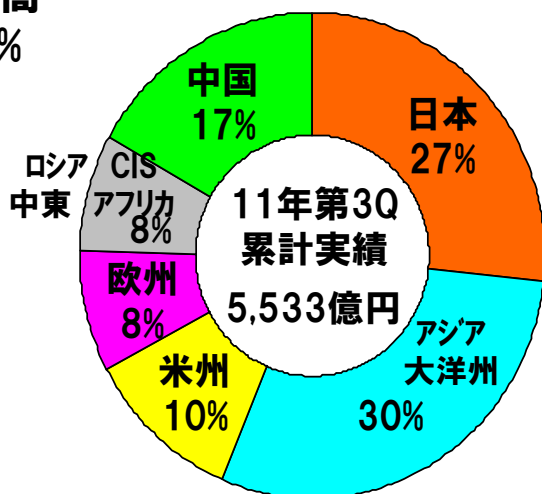
	12年度 第3Q累計	11年度 第3Q累計	対前年同期比	
			金額	%
売上高	5,545	5,533	12	0%
売上原価	4,123	4,069	54	1%
販売費・管理費	1,138	1,145	△6	-1%
営業利益	283	319	△36	-11%
営業外損益	△85	△22	△63	280%
経常利益	198	297	△99	-33%
特別損益	86	△6	92	-
法人税等	121	116	5	5%
少数株主損益	△35	△54	19	-35%
四半期純利益	127	121	6	5%

- 中国向けは前年比353億円 (62%) の大幅減収
- 一方、米州向けは前年比288億円 (149%) の増収
- 日本向けもTCM除外の影響を考慮すると、183億円 (117%) の増収

海外売上高
比率 75%



海外売上高
比率 73%



(注) % は対前年度伸び率、() はTCM影響を除く数値

(単位:億円)

	12年度 第3Q累計		11年度 第3Q累計		前年同期比	
					金額	%
売上高		5,545		5,533	12	0%
売上原価	(74.4%)	4,123	(73.5%)	4,069	54	1%
販売費・管理費	(20.5%)	1,138	(20.7%)	1,145	△6	-1%
営業利益	(5.1%)	283	(5.8%)	319	△36	-11%
営業外損益		△85		△22	△63	280%
経常利益		198		297	△99	-33%
特別損益		86		△6	92	-
法人税等		121		116	5	5%
少数株主損益		△35		△54	19	-35%
四半期純利益		127		121	6	5%

- ユニキャリア及びディア日立ブラジルの立上げ費用等もあり持分法投資損益が悪化し、3Qの3ヶ月間のみで前年比17億円の悪化

(単位:億円)

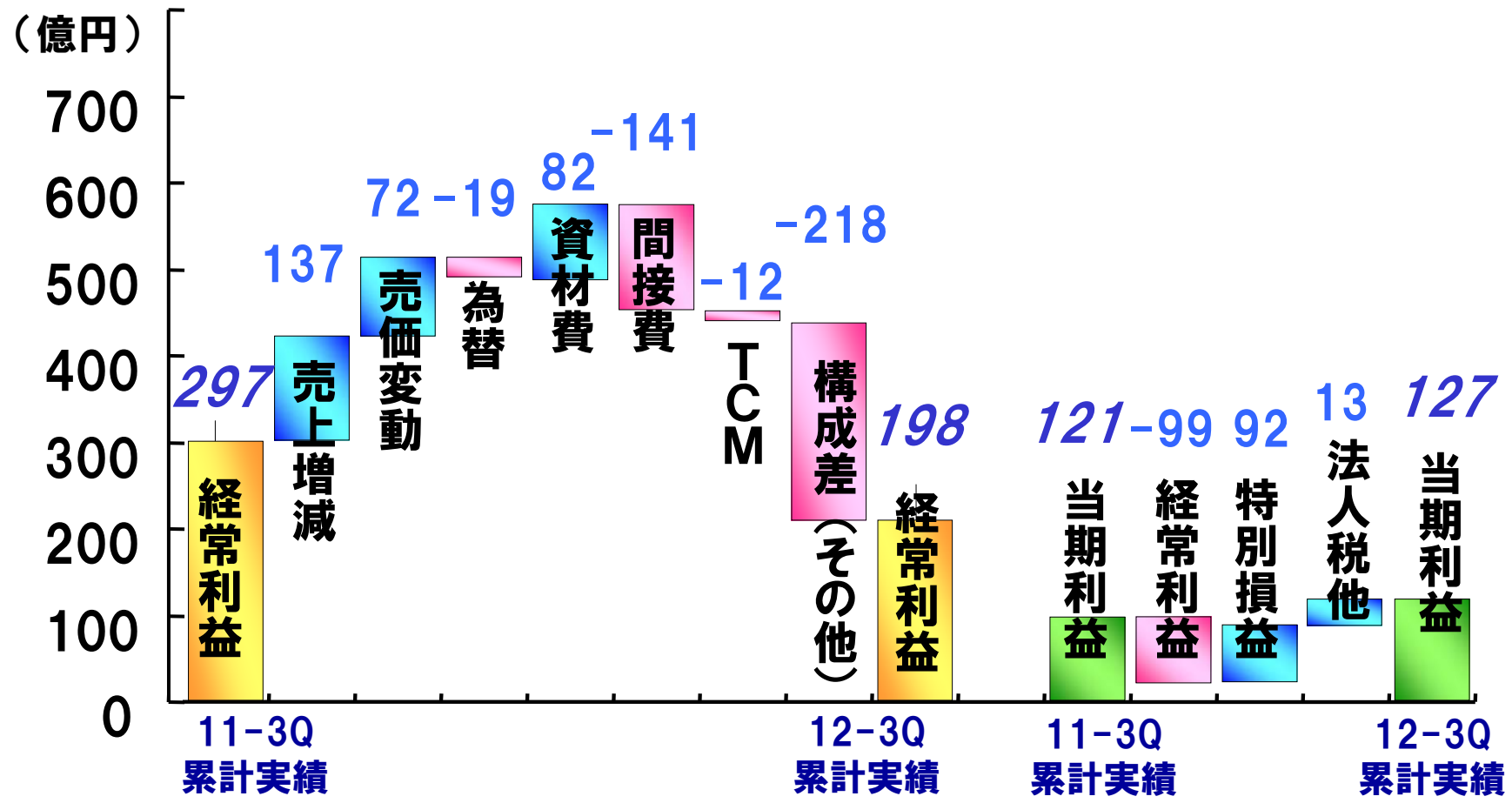
	12年度 第3Q累計	11年度 第3Q累計	増減
金融収支	△64	△55	△9
持分法による投資損益	△5	3	△8
為替差損益	△16	△4	△12
その他	0	34	△34
計	△85	△22	△63

(単位:億円)

	12年度 第3Q累計	11年度 第3Q累計	前年同期比	
			金額	%
売上高	5,545	5,533	12	0%
売上原価	(74.4%) 4,123	(73.5%) 4,069	54	1%
販売費・管理費	(20.5%) 1,138	(20.7%) 1,145	△6	-1%
営業利益	(5.1%) 283	(5.8%) 319	△36	-11%
営業外損益	△85	△22	△63	280%
経常利益	(3.6%) 198	(5.4%) 297	△99	-33%
特別損益	86	△6	92	-
法人税等	121	116	5	5%
少数株主損益	△35	△54	19	-35%
四半期純利益	(2.3%) 127	(2.2%) 121	6	5%

連結損益変動要因(実績)

- TCMを除いた売上高は前年比388億円の増収となり、物量の増加により122億円の増益要因
- 売価及び資材費の改善により約150億円の増益要因
- 一方、中国向けの更なる減少及びマイニング機械の納期調整による生産調整により固定費負担増
⇒前年比99億円の経常利益減益



- 売掛債権(受手・売掛金及びリース債権・投資資産計)は前年度末比手持日数38日、856億円の減少で9月末と同レベル
- たな卸資産は12月の急激な円安及び在庫の納期調整により手持日数21日、480億円の増加

(単位:億円)

	(A) 12年第3Q	(B) 11年度	(C) 11年第3Q	(A-B) 増減
現金及び預金	641	728	669	△87
受手・売掛金	1,722	2,385	1,681	△663
リース債権・投資資産	1,010	1,203	1,145	△193
たな卸資産	3,169	2,689	2,828	480
その他	648	518	490	130
流動資産計	7,190	7,523	6,813	△333
有形固定資産	2,605	2,449	2,325	156
無形固定資産	329	408	409	△79
投資その他	593	482	438	111
固定資産計	3,527	3,338	3,172	189
資産合計	10,717	10,861	9,985	△144

	(D) 12年第3Q	(E) 11年度	(F) 11年第3Q	(D-E) 増減
支手・買掛金	1,573	1,929	1,844	△356
その他	3,008	3,272	2,706	△264
流動負債計	4,581	5,201	4,550	△620
固定負債計	2,292	1,973	1,971	319
負債合計	6,873	7,173	6,521	△300
少数株主持分	494	454	429	40
株主資本	3,510	3,457	3,347	53
その他	△160	△223	△312	63
(自己資本比率)	(31.2%)	(29.7%)	(30.3%)	(1.5%)
純資産合計	3,844	3,688	3,464	156
負債・純資産合計	10,717	10,861	9,985	△144

手持日数(分母は、売上高)

(単位:日)

	(A)	(B)	(C)	(A-B)
受手・売掛金	122	160	129	△38
たな卸資産	141	120	130	21
支手・買掛金	70	86	84	△16
正味運転資金	193	194	175	△1

	(36.7%)	(35.8%)	(35.5%)	(0.9%)
有利子負債計	3,937	3,889	3,544	48
現預金・預け金	810	812	669	△2
(預け金)	(170)	(84)	(0)	(86)
ネット	(29.2%)	(28.3%)	(28.8%)	(0.9%)
有利子負債	3,126	3,077	2,875	49

注1) 「受手・売掛金」手持日数は、「リース債権・投資資産」を含めて計算している。

ネット D / E レシオ	0.94	0.95	0.95	△0.01
------------------	------	------	------	-------

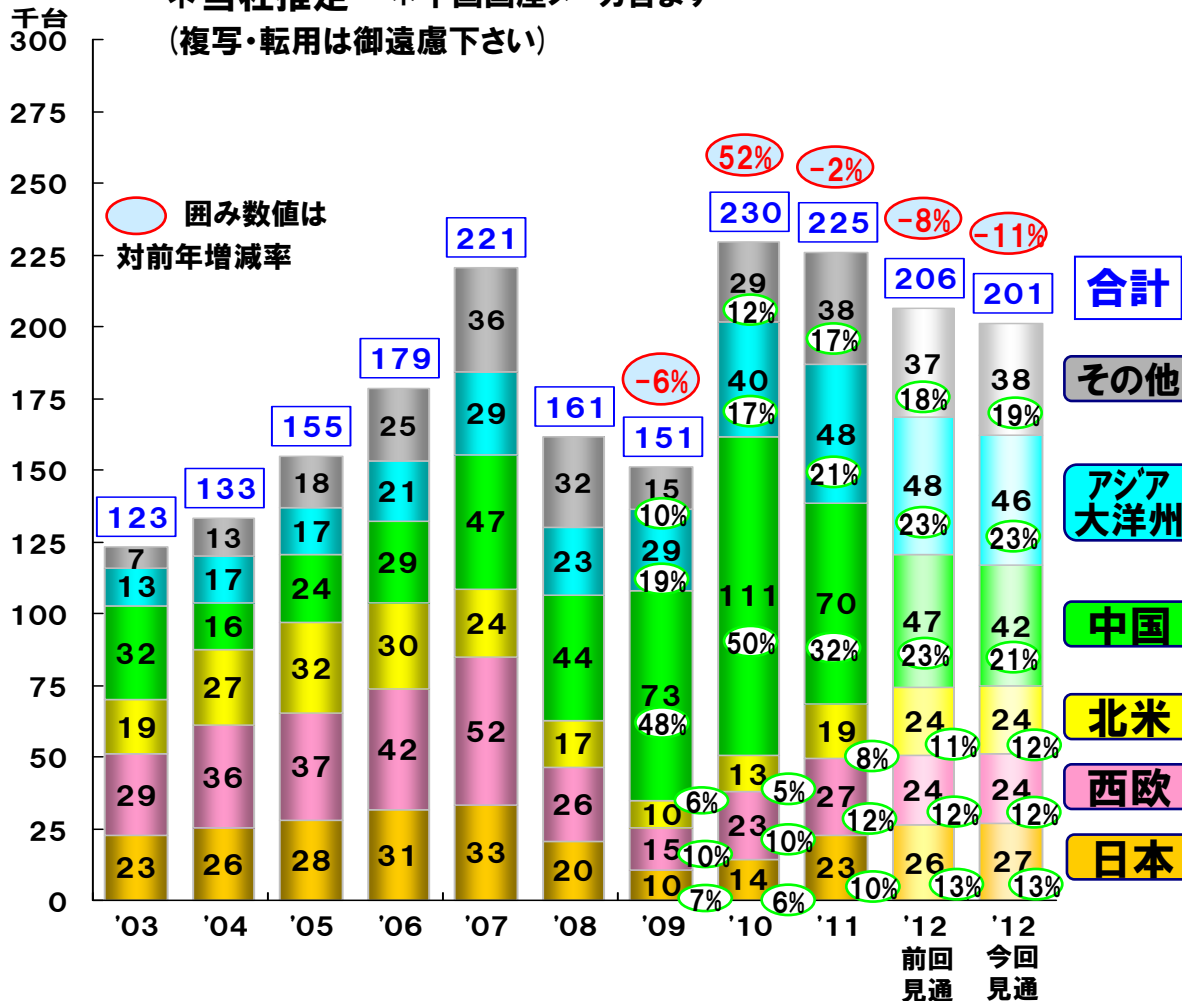
- 2Qに引き続きCFの改善に努め、フリーキャッシュフローは前年比429億円の改善

(単位:億円)

区分	12年第3Q 累計		11年第3Q 累計		増減	
税金等調整前当期純損益		284		291		△7
減価償却費	550	266	580	289	△30	△23
受取手形及び売掛金の増減額		587		41		546
リース債権及びリース投資資産の増減額		225		114		111
たな卸資産の増減額		△501		△1,037		536
支払手形及び買掛金の増減額	87	△224	△390	492	477	△716
法人税等の支払額		△191		△144		△47
その他		△40		△71		31
営業活動		406		△25		431
有形固定資産の取得による支出		△359		△194		△165
有形固定資産の売却による収入		17		3		14
投資有価証券の取得による支出		△111		△9		△102
投資有価証券の売却による収入		6		0		6
その他		225		△21		246
投資活動		△222		△221		△1
フリーキャッシュフロー		183		△246		429
短期借入金の増減額		△93		394		△487
長期借入金・社債の増減額	15	108	397	3	△382	105
配当金の支払		△126		△91		△35
利息の支払等	△228	△102	△196	△105	△32	3
財務活動		△213		201		△414
現金及び現金同等物に係る換算差額		16		△36		52
現金及び現金同等物の増減額		△14		△81		67
現金及び現金同等物期首残高		811		747		64
現金及び現金同等物期末残高		797		666		131

- 中国は前回見通しより5千台落とし、42千台(前年度比△40%)を見込む
- アジア・大洋州はインドネシアを中心に2千台落とし、46千台(同△6%)を見込む

*当社推定 *中国国産メーカー含まず
(複写・転用は御遠慮下さい)



	'11	'12前回	'12今回
日本	+58%	+15%	+18%
西欧	+14%	-9%	-9%
北米	+49%	+25%	+27%
中国	-37%	-34%	-40%
インド	+21%	-13%	-13%
インドネシア	+52%	-4%	-23%
他	+7%	+12%	+10%
アジア・大洋州	+22%	0%	-6%
ロシア・東欧 CIS	+69%	+6%	+2%
アフリカ	+21%	+18%	+23%
中東	+50%	-20%	-14%
中南米	+16%	+1%	+2%
その他	+37%	-2%	0%
合計	-2%	-8%	-11%

- 売上高: 全世界合計では需要見通しを落としたものの、円安基調により為替レートを変更し、前回見通しを変更せず(為替の影響により10月時点より約270億円の増収見通し)
- 利益: 物量の減少による減益要因あるものの、為替の効果(10月時点より約87億円増益要因)により、前回見通しを変更せず

(単位: 億円)

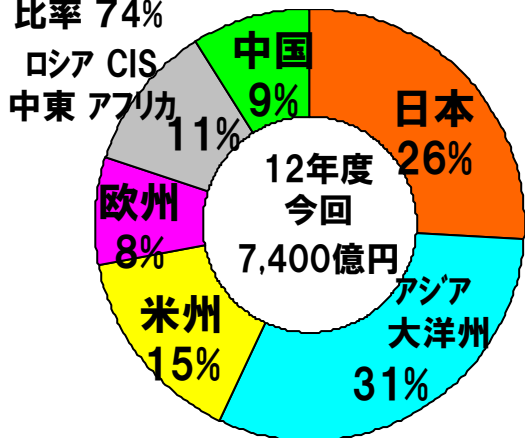
		12年度 予想	11年度 決算	前年 増減率
売上高		(7,400) 7,400	8,171	△9%
営業利益		(560) 560	548	2%
経常利益		(450) 450	517	△13%
当期純利益		(330) 330	230	43%
為替	アメリカドル	81.69	78.85	
	ユーロ	107.75	108.95	
	中国元	13.32	12.41	
1株当り配当金		40円	30円	10円

注. ()内は12年10月対外発表値

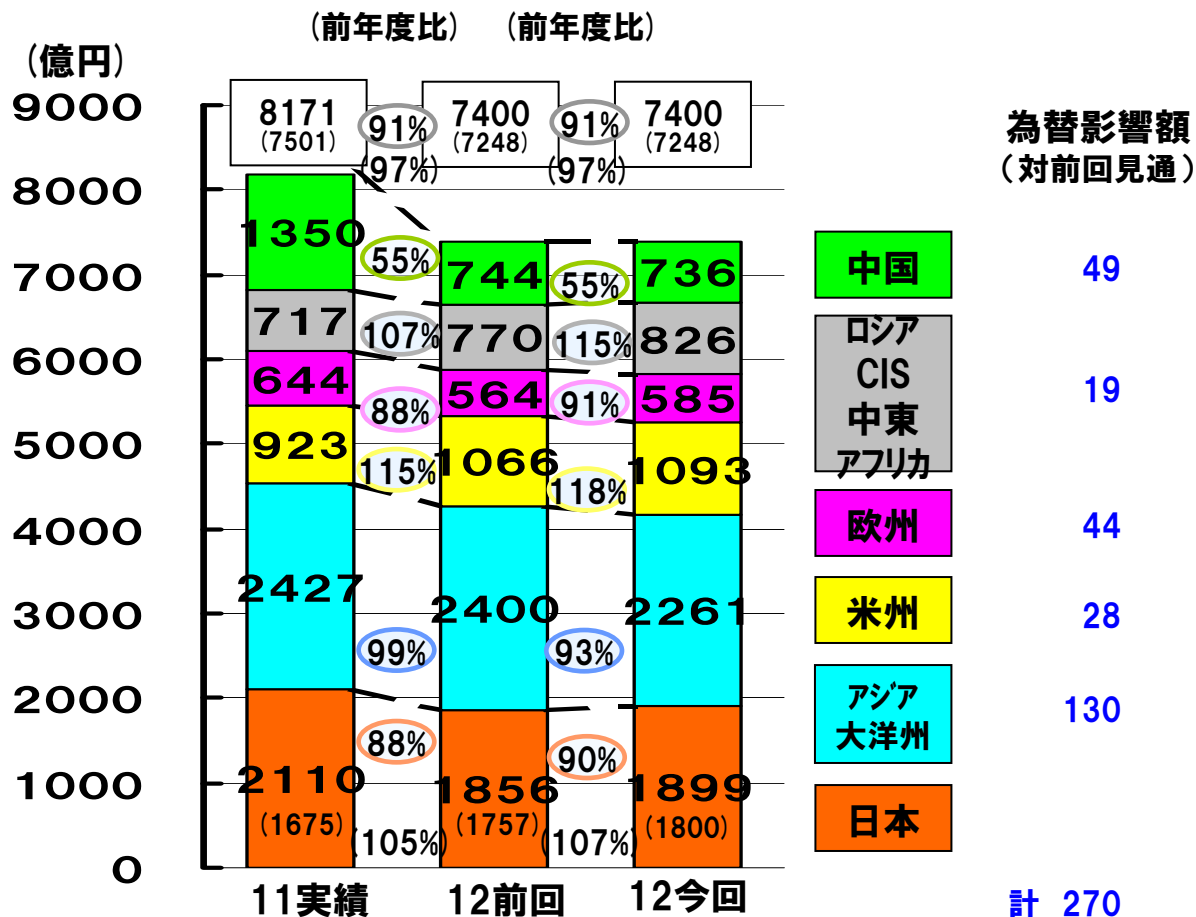
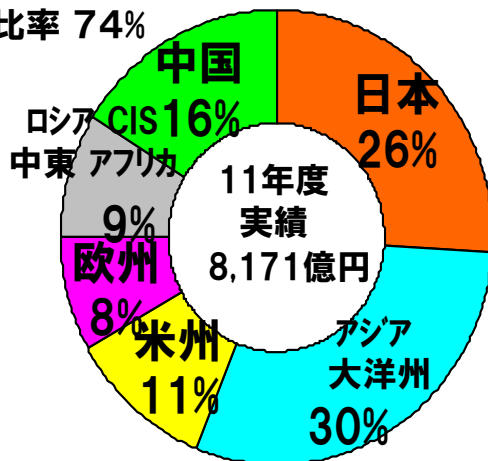
12年第4Qの為替レート (前回)	
(円/ドル)	89.00 (78.00)
(円/ユーロ)	119.00 (100.00)
(円/元)	14.40 (12.30)

- 中国及びアジア・大洋州向けは売上台数が減少するも、円安の効果により、金額換算では微減に留まる
- 日本向けは復興需要及び除雪用ホイールローダが堅調なことにより、微増を見込む

海外売上高
比率 74%



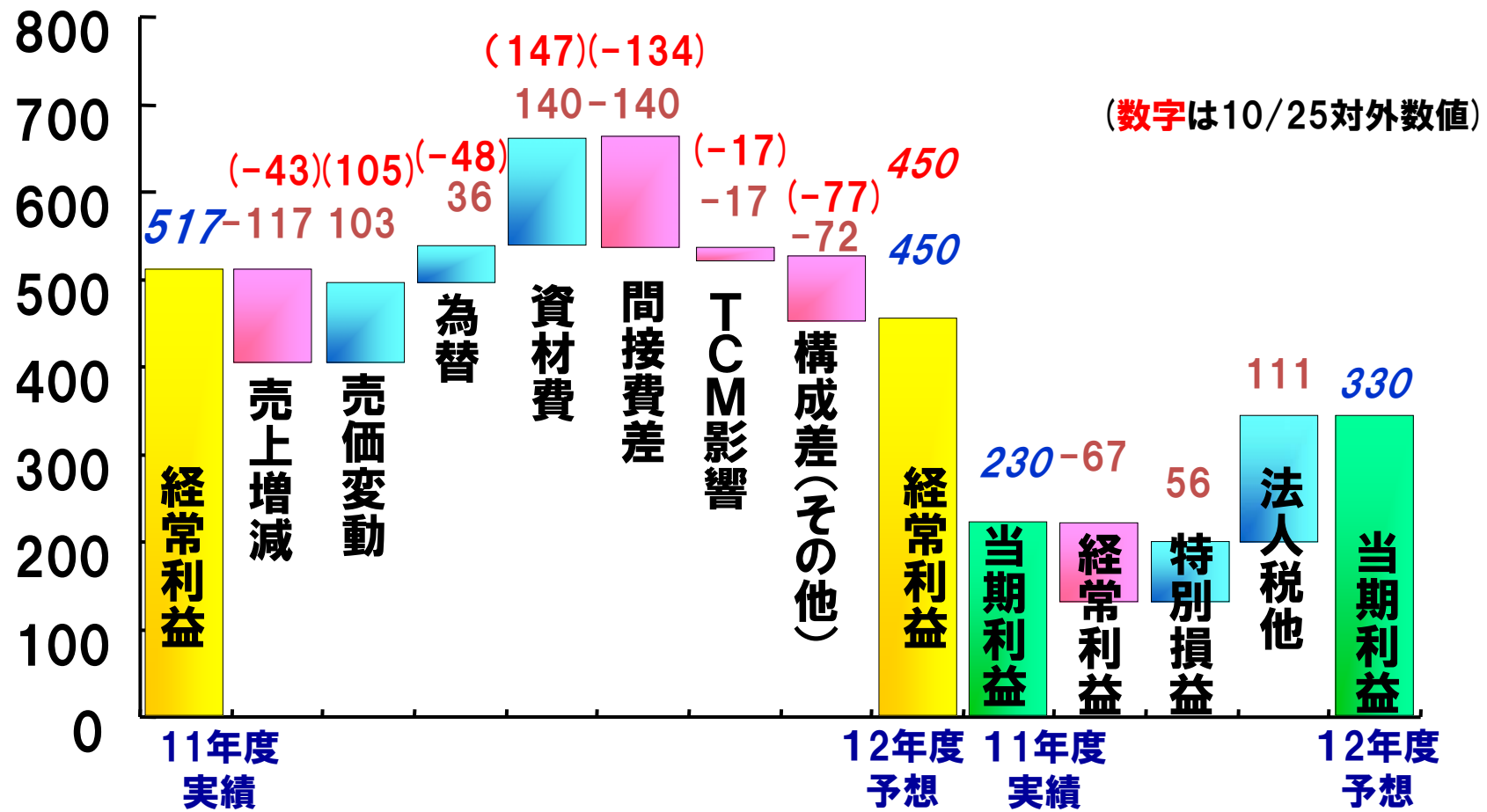
海外売上高
比率 74%



(注) % は対前年度伸び率

•前回見通しより、更に中国向け及びマイニング機械の物量を落とすも、円安の効果により前回見通しを変更せず

(億円)



END



お問い合わせ : 日立建機株式会社
経営管理本部 広報戦略室
早水紀雄

TEL : 03-3830-8065
FAX : 03-3830-8224
